

令和7年度 第1回定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

会議名	令和7年度 第1回定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	令和7年11月28日(金) 14:00~15:45
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室2, 3, 4
出席者	<p>【委員】8名(欠席6名) 岩崎恭典(座長)、山田征子(副座長)、福本美津子、黒田寿美、二之夕博和、岡正光、西田太郎、中川康司 ※欠席:相田直隆、三宅徹、野田智文、小葉松賢治、小林弘樹、末吉利教</p> <p>【行政側】29名(欠席7名) 山下正史(いなべ市副市長)、岡本幸弘(東員町副町長)、大橋裕之(菰野町副町長)、森川里佳(いなべ市企画部長)、大川洋海(いなべ市都市整備部長)、岡武史(いなべ市環境部長)、岡真水(いなべ市福祉部長)、寺尾あき(いなべ市健康こども部長)、宮木崇年(いなべ市農林商工部長)、伊藤功(いなべ市教育部長)、太田東洋(いなべ市建設部長)、近藤栄人(いなべ市総務部長)、小谷直仁(いなべ市政策課長)、小河信彦(東員町政策課長)、南部博輝(東員町地域福祉課長)、中村徹也(東員町建設課長)、吉田尚生(東員町みらい環境課長)、山中剛(東員町子ども家庭課副課長)、三林直樹(東員町総務課課長補佐)、諸岡伸也(菰野町企画情報課長)、黒田泰弘(菰野町企画情報課政策推進室長)、山下知也(菰野町環境課長)、松岡均(子ども家庭課長)、樋江井晴子(菰野町健康福祉課長)、秦崇(菰野町観光産業課長)、山吉隆(菰野町観光産業課観光商工推進室長)、芝田正博(菰野町総務課安全安心対策室長)、加藤真(菰野町総務課課長補佐)、坂倉宏紀(菰野町都市整備課課長補佐)</p>
会議次第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 座長あいさつ 4 副市長及び副町長あいさつ 5 審議事項(資料1)と令和7年度事業取組経過報告(資料2)について 6 次回の会議について 7 閉会
配布資料	<p>資料1…令和7年度第4次いーとこ定住自立圏共生ビジョン懇談会 改定等審議事項</p> <p>資料2…令和7年度事業取組経過報告書</p>
公開、 非公開の別	公開

議事概要

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付 いなべ市副市長から山田氏へ交付
- 3 座長あいさつ
- 4 副市長及び副町長あいさつ いなべ市副市長、東員町副町長及び菰野町副町長のあいさつ
- 5 審議事項（資料1）と令和7年度事業取組経過報告（資料2）について

資料1…令和7年度第4次いーとこ定住自立圏共生ビジョン懇談会改定等審議事項

資料2…令和7年度事業取組経過報告書

【いなべ市政策課長】

- ・資料1及び資料2について説明

【いなべ市担当部門長】

- ・医療、福祉、教育、産業振興、環境分野について、施策番号順に、いなべ市の担当部長から取組経過報告及び取り組みの成果について説明

【座長】

- ・ご意見等よろしくお願ひします。
- ・p.27について、東員町が、施策を構成する事業に文化施設整備費を追加したことについて、先ほどの説明によると、追加することで、地域活性化事業債が使えるようになるということですか。その事業債を使って設備の更新をするということですか。

【東員町政策課長】

- ・総合文化センターのひばりホールにかかる設備の更新にも活用していきたいと考えています。

【座長】

- ・目標値が横ばいとなっていますが、事業債を使って設備をリニューアルするのであれば、目標値は増加にするべきではないですか。

【東員町政策課長】

- ・目標値はコスモスフェスタの観光入込客数となっているので、今後、ひばりホールに関わるものも目標値に追加していけたらと思っています。

【委員】

- ・p.8において施策指標名が常勤医師数のみの目標値となっていますが、緊急時については、どう考えていますか。

【座長】

- ・昨年度から課題となっていたのは、いなべ市と菰野町では医療圏が異なるため、緊急時には菰野町は四日市の病院へ、ということになります。

【いなべ市健康こども部長】

- ・指標に設定しました病院群輪番制参加病院の常勤医師数とは、24時間365日いつでも患者を受け入れてもらうところへの常勤の医師数を確保していくことになります。

【委員】

- ・確認ですが、p.16の「発達支援体制の充実」についてですが、KPIが医療連携を行った数と

なっていますが、小児科へのつながりができた子どもの人数ということでよかったです。

【いなべ市健康こども部長】

- ・それぞれの市町によって方法が異なるため、一律には難しいですが、各市町が医療への連携を行った数となっております。

【座長】

- ・それでは地域公共交通の分野から説明の再開をお願いします。

【いなべ市担当部門長】

- ・地域公共交通、道路等の交通インフラの整備、地域の生産者や消費者等の連携による地産地消、地域内外の住民との交流・移住促進、上記のほか、結びつきやネットワークの強化に係る取組、圏域内市町の職員等の交流について、施策番号順に、いなべ市の担当部長から取組経過報告及び取り組みの成果について説明。

【座長】

- ・先ほどの前半部分も含めて、なにかご意見等ありませんか。
- ・連携の締結を行うには議会の議決が必要になるということですか。

【企画部長】

- ・議会の議決が必要となります。

【座長】

- ・たとえばデジタル人材の活用などについては、より広域の方がふさわしいと思います。広域で採用することは可能ですか。たとえばシステムについても揃えて、共同処理を可能にしておくことは必要なことではないですか。

【いなべ市政策課長】

- ・3市町それぞれDXへ向かう進み方は違いますが、3市町でまずは共同研修から実施していく予定をしております。その後、外部人材にかかる財政措置を検討できればと考えています。

【座長】

- ・外部人材について、東員町は地域活性化起業人の数ですが、いなべ市は、ほかの外部人材の数も含まれていますか。

【いなべ市政策課長】

- ・これまでの地域活性化起業人の累計になります。

【座長】

- ・新たな協定の締結については議会の議決が必要ということでしたが、せっかくの機会なので、共通する課題については1市2町共同で行っていけるように努めてください。

【委員】

- ・p.31の公共交通についてですが、特に医療機関については、直通の公共交通機関があると良いと思います。

【いなべ市都市整備部長】

- ・医療機関同士の直通バスなどについては、需要がどのくらいあるかなどについて、確認方法を検討していきたいと思います。また、デマンド交通についても検討を進めていけたらと考えています。

【委員】

- ・デマンド交通について、調査等は行われていますか。また全国における先進事例の確認は行われていますか。

【いなべ市都市整備部長】

- ・デマンド交通については、菰野町はすでに導入済みのため、事例の報告などを共有しております。いなべ市では、新たな公共交通手段の導入ということで、デマンド交通も含めて現在、

基礎調査を実施しております。

【委員】

- ・先進事例なども参考に進めていってもらえたたらと思います。

【座長】

- ・公共交通はとても重要な施策だと思います。せっかく1市2町が定住自立圏で集まても、市境、町境を越えられないという大きな問題があるので、そこについても提言などを行ってもらえたたらと思います。

【委員】

- ・p.37 の地産地消についてですが、「地消」について、イベント等で販路拡大などに取り組んでもらって、地産地消につなげていってもらいたいと思います。
- ・目標値が単年度の数値のものか、累計なのか揃っていないので、共通のものにしておいたらと思います。

【委員】

- ・p.38 空き家対策について、広報の方法について、ホームページ以外も検討していただきたい。
- ・取り組みの成果について、地元男性に特化した...とありますが、なぜ地元男性に特化しているのですか。

【いなべ市都市整備部長】

- ・空き家対策についてですが、市のホームページに空き家情報を掲載していることに加えて、高齢者向けに、老人会の会合において、空き家問題について啓発を行っています。また、民生委員の会合においても空き家バンク等について情報提供を行っています。今後は福祉委員会においても、空き家バンク等の周知、啓発を行い、もし空き家になるようでしたら、利活用を行っていただけるように、地域活性化起業人などを通して、啓発イベントや出前講座を行っていきます。

【座長】

- ・近隣市町においても、空き家問題に積極的に取り組んでいるところも参考にしながら進めていってください。

【いなべ市企画部長】

- ・結婚応援イベントにつきまして、こういったイベントを行うと市内外問わず、男性の申し込みが多いため、地元男性に限定しているのかと思います。

【委員】

- ・各市町単独では、なかなか取組が進まないことが、広域であるからこそ進むことがあるということが分かりましたし、逆に広域だからこそ進みにくい部分もあるんだと思いました。
- ・各取組について、効果があったかどうかを測ることは、なかなか難しいかと思いますが、取組を進めながら検討していく必要があると思います。
- ・KPIについて、実数で数値が入っているものについて、数値が増えていくのがいいのか、減っていくのがいいのかなどの確認と、現状維持でいいのかなど確認してもらえるといいと思います。例えば、p.14 について、「利用者の増加は、利用者の満足度につながります」とありますが、目標値は現状維持のままであったり、p.18 についても「子育て支援センターの利用者が増えることで、子どもは地域の大人と関わることができ、保護者は子育ての孤立化を防ぐことができる」とありますが、目標値は現状維持のままであるので確認をお願いします。

【座長】

- ・子どもの数や人口が減っていく中で、現状維持でも十分な目標値であるとも考えられますが、なにかご意見ありますか。

【いなべ市福祉部長】

- ・p.14について、以前はなかなか家から出られなかった方が現在は多方面からのアプローチによって色々なサービスを利用できているようになってきましたので、これまでのよう大幅な利用者数の増加はこれからは見込めないかと思いますが、これからも随時確認していきます。

【いなべ市健康こども部長】

- ・子育て支援センターにつきましても、今後も少子化が進んでいくことや未満児で保育園に通う子が増えていく場合、子育て支援センターの利用者には数えないため、この数値となっていきます。

【委員】

- ・バス事業について、各市町においてニーズの把握が行われていて、利用者数も上方修正していく素晴らしいと思います。今後も利用者が増えるように、例えば健康サロンなどバスに乗る動機付けになるようなイベントなども行ってもらえると健康寿命の延伸にもつながると思いますので、ぜひ検討してもらえたうらうらと思います。

【座長】

- ・既存事業者と競合しないような形で、地域の公共交通を進めていけるように取組をお願いします。ただし、ルートについて、市境などは越えていく必要があるかと思います。

【委員】

- ・いなべ市にはたくさん観光名所がありますが、その周辺にお店が少ないように思いますので、例えば毎月なにかイベントがある、などといった取組があるとよいと思います。

【座長】

- ・この圏域にはたくさんの観光資源が眠っていると思いますが、再度発見して、磨き上げていく人がいないという人材不足の問題があるので、例えば、地域活性化起業人や集落支援員などの制度を活用するなど効果的に活用して取り組んでいってください。
- ・今回は中間報告ということで決定事項はありませんが、指標の設定や内容の変更についてお認めいただくということでおろしくお願ひします。

【いなべ市企画部長】

- ・ありがとうございました。圏域の共通課題に対して、年度途中ではありますが、3市町で連携した取組が開始していることをご確認いただけたとともに、まだまだこれから考えていかなければいけない課題についても明確になってきたかと思いますので、職員一同で課題に取り組んでいきたいと思いますので、また貴重なご意見をよろしくお願ひします。

6 次回の開催について

【事務局】

- ・次回の会議は令和8年度7月頃に開催予定です。お忙しいと思いますが、よろしくお願ひいたします。

7 閉会

【事務局】

- ・以上をもちまして、令和7年度 第1回定住自立圏共生ビジョン懇談会を閉会します。ありがとうございました。